

盛夏！埼玉一泊旅行の巻

2017 JULY

7



題字&イラスト 石久保萌香

おひさま

通信

No. 330

2017年 7月号
社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家

〒333-0831 川口市木曾呂 1 3 7 4
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-294-0955 FAX 048-294-4458

アトリエ輪

〒333-0831 川口市木曾呂 8 9 - 4

TEL 048-299-9156 FAX 048-299-9157

川口太陽の家・工房「集」

〒333-0831 川口市木曾呂 1 4 4 5
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-290-7355 FAX 048-290-7356

http://kobo-syu.com

オレンジホーム

〒333-0831 川口市木曾呂 2 4 9 - 1

TEL 048-298-1796 FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
<http://minuma-hukushikai.com>



みぬま福祉会

埼玉旅行

待ちに待った旅行当日です。仲間たちは今日を楽しみに毎日過ごしていました。梅雨時期だったため、雨を心配しましたが、当日は暑すぎるくらい良い天気。行きの車内は皆のわくわくした顔でいっぱいです。1日目の鉄道博物館では、目の前を新幹線が通るラウンジで、皆で美味しい駅弁を食べました。その後は珍しい形の鉄道や昔の新幹線の中に入ってみます。「懐かしい」「運転席に乗ってみよう」といろんな電車に乗り比べてそれぞれの雰囲気を感じる仲間、窓越しに過ぎ行く電車を眺める鹿子木さんや、模型や看板をじっと見つめてニコニコしている野口さん：それぞれ博物館内にお気に入りの場所を見つけて楽しんでいました。

今回は秩父の大自然の中に佇むホテルで一泊。到着して、ゆっくり温泉に浸かりました。ホテルの温泉はふたつあり、大浴場と、きれいな風情のある露天風呂。緑の多い秩父の自然を眺めながらの温

泉は、身も心も癒してくれます。その後は皆で集まって宴会です。秩父名物の豚肉の味噌漬けを中心とした和食メニューをお腹いっぱい食べました。宴会といえば仲間達を楽しみにしていたカラオケ。好きな曲を歌ったり踊ったり、仲間同士でデュエットしたり：笑顔溢れる大盛り上がり宴会となりました。

2日目は朝から川の博物館へ。川の博物館は、荒川と人との関わりを模型やアトラクションを通して、楽しみながら知ることが出来る体験型施設です。大画面に映る荒川の映像を観たり、3Dアトラクションに乗って荒川下りの体験をしたり：仲間達は3Dメガネをかけてどんな映像が始まるのか、わくわくしていました。また、ザリガニやカメに触れる小さな水族館も併設されており、そこで生き物を触ったり、泳ぐ魚をじっと観察したり。普段はなかなか見ることができない生き物もいて、貴重な体験が出来ました。

お昼は川の博物館の近くの花園フォレスト（スイーツと薔薇の庭園が楽しめる施設です）でランチ

ビュッフェ。パスタやピザ、ケーキなどが綺麗に並んでいて圧巻です。それぞれ好きな物を選んで、思い思いに美味しい食事をゆっくりと楽しみました。

2日目はイベント盛りだくさんです。その後は、所沢にあるブルーベリー農園へ移動。ハウスの中と外にも、ブルーベリーの木がずらっと並んでいます。20種類以上あるブルーベリーを摘み取りながら、好きな種類を詰めて持ち帰るといふ収穫体験。こっちのブルーベリーは、あつちのは…と、様々な種類を試して慎重にパックに詰めていく長谷川さん、試食のたびにおいしい！と満面の笑みの緑川さん、それぞれにブルーベリーの摘み取り体験を楽しんだようです。摘みたてのブルーベリーは本当においしくて、仲間達も自然と笑みがこぼれます。

今回の埼玉旅行は梅雨時期を考慮して屋内施設でのゆっくりとした旅程でしたが、結果的に天気にも恵まれ、仲間達の「楽しかった！」の声が何より嬉しく、充実した旅行になりました。（鳥原）



野田夢友作品展

描くことの切実さを巡って

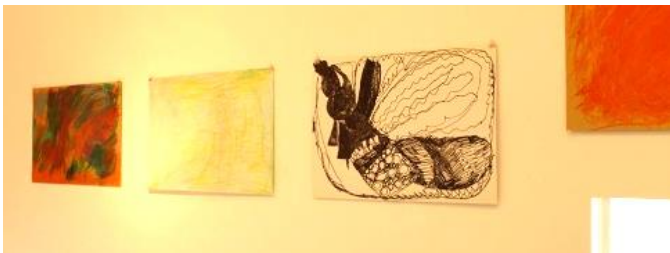
工房集が大切にしている「誰にでも表現の可能性がある、重度の障害のある仲間の表現の可能性を追求している」ことを具現化した作家の1人、野田夢友さんの作品展を開催しました。

4月11日に急逝した野田夢友さん。とても温厚な性格で、周りからとても愛されていました。その一方で、作品は自分の気持ちや言葉を伝えられない彼の切実な訴えの表れのようにも感じられました。彼が工房集で過ごした13年間に生み出された数々の作品を通して、私たちに教えてくれたこと、そして工房集が大切にしている表現活動の意義の共有に繋がりました。



夢友さん、作品展開催おめでとう。私たちは、この作品展を通して君に会いに来ています。君が懐かしい存在なのではなく、君の痛み、君の孤独、君の思い、君の気づき、君の願いに会いに来ています。君の伝えたかったことは、改めて私たちに励まし、勇気づけてくれていきます。ありがとうございます、頑張るからね。

(総合施設長 松本哲)



彼の最近の作品から感じた「出口のない感情を生きる」ということ、そのリアリティの切実さはある意味人間存在の在り様そのものだと言えます。野田は何を考へ感じていたのか聞いてみたかったです、もう彼はこの世界からいなくなってしまうました。しかし、彼の絵はここにあり、絶えずいろいろなことを私たちに投げかけてきます。それは彼が生きていたときと同じように謎に満ちています。

(工房集アートディレクター

中津川浩章)



陽だまりの申より.....

～今月の各班の想い～

じゅうに

今月のみんなデーは、協同病院のカフェでお茶をする事になりました。仲間が毎月積み立てているお金を使用して、みな思い思いのケーキセットを注文しました。メニューにはイチゴケーキやチョコレートケーキ、シフォンケーキなど色々な種類があります。スイーツ男子の多い「じゅうに」では女性だけでなく、男性もテンションがあがり、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。(小平)



サンだいち

ついに暑い季節がやってきました。暑さに負けず、サンだいち班の仲間は、近隣の工場へウエス納品に出掛けたり、生協の店舗へ牛乳パックの回収に伺ったりと大忙しです。ウエス納品では、従業員の方に「ご苦労様」と声を掛け頂き、笑顔で応えていました。地域のみなさんとの大切な場、これからも笑顔で、楽しく、そして真剣に活動していきます。(竹田)



めーべ

7月10日(月)～22日(土)の期間、野田夢友さんの作品展がありました。400名を超えるたくさんのお客さんが見学に来られて夢友さんという人物がたくさんの人を引き寄せる魅力ある人と言われるのがよくなりました。作品展のキャプションを見て仲間からもメッセージを書きたいという意見が出て寄せ書きを作りました。仲間一人ひとりの気持ちがこもった素敵なメッセージを書きました。(富崎)



あおぞら

7月12日(水)と13日(木)の日に、2チームに分かれて集で開催されている野田夢友さんの作品展に行ってきました。ギャラリーで佇んでいたある仲間からは、「うわー、夢友くんの作品でこんなにあったんだ。すごいな。」と驚きと尊敬の言葉が出ていました。また、違う仲間の日記には、「すごいよ。本当にカッコよかった。俺にも夢を与えてくれてありがとう。なんで亡くなってしまったんだよ。顔を浮かばせながら作品を一つ一つ見た。素敵な夢友君にもっと作品を見せて欲しいと思った」と書かれていました。心にしみる作品展をありがとうございました。(小川)



きらっと

きらっと班では、4~7月の合同誕生日会を行ないました。先日の東京旅行や埼玉旅行に行った仲間たちからのお土産のお菓子をみんなで食べる会も兼ねています。テーブルにはたくさんのお菓子…誕生日を迎えた仲間は「これからもみんなで仕事頑張りたいです」「ありがとう」などひとりひとり挨拶をし、その後は談笑したりおいしいお菓子やジュースを楽しみ和やかな雰囲気となりました。仕事の時間以外でこうしたゆったりとした時間を皆で過ごす事も大切にしていきたいです。(鳥原)



青年隊

7月から、青年隊で話し合ったリクエストメニューが始まりました。みんなすごい笑顔よろこんで食べています。青年隊のメンバーでうれしかったことやたのしかったことを話しあって自分たちからひたすら手をあげて意見を言っていました。むずかしい課題のときも少しでも自分たちで手をあげられるようにみんなでがんばります。

(めーべ班 渡邊あや)

オレンヂホーム



今年度4月よりホームスタッフとして配属になりました、早川です。入居の仲間達、同僚スタッフに支えられ、少しずつホームの仕事にも慣れてきました。今まで太陽にいた経験を活かした、サポートをと思っ

ていましたが、いざ入ってみると、通所にはない問題もたくさんあります。例えば、余暇の過ごし方などは、希望者になりますが、市の図書館へ本を借りに行ったり、自分たちのおやつを作って食べたりしています。(早川)

授産報告（7月）

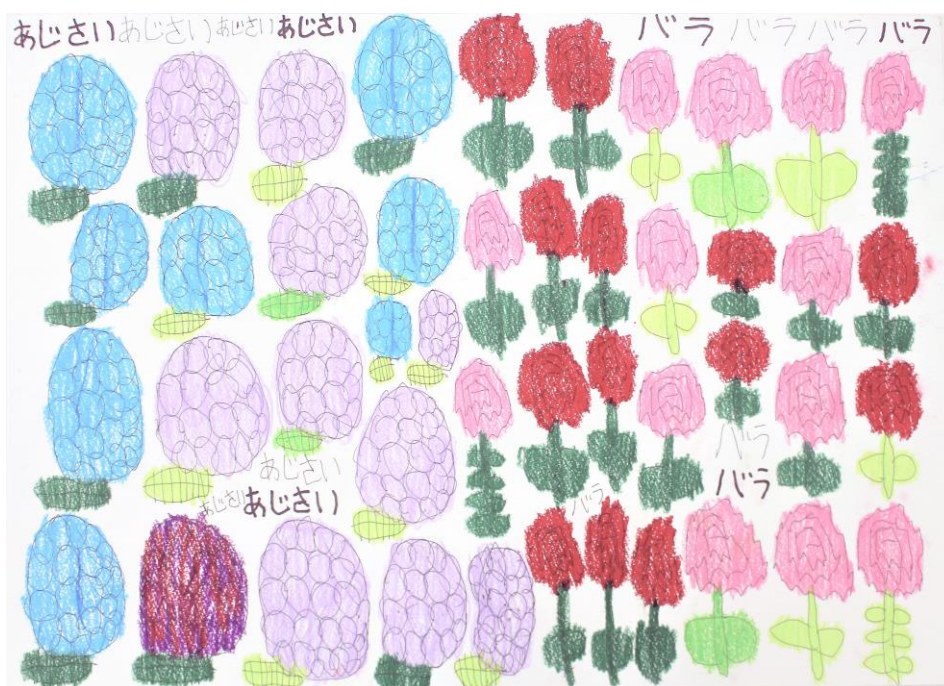
<収入>

種目	金額	摘要
ウエス	21,000	
織り	16,000	
絵画	125,570	
詩	0	
古本・古着	200	
粘土製品	0	
ステンドグラス	10,600	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	0	
牛乳パック	8,600	
その他	0	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰越	579,301	
合計	761,271	

<支出>

項目	金額	摘要
賃金	241,996	
賞与	0	
材料費	21,059	
経費	0	
その他	0	
通帳への繰入	498,216	
作品展準備金	0	
合計	761,271	

～今月の新作～



あじさいバラ

大倉史子（めーべ）

8月 予定表

		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	火			16	水		
2	水		施設運営担当者会議	17	木		
3	木		建設部会	18	金		
4	金	半日、PM職員会議		19	土	休み	
5	土	半日	白岡まつり	20	日		
6	日			21	月		常任理事会
7	月			22	火		
8	火			23	水		
9	水			24	木		
10	木			25	金	半日、PM職員会議	
11	金			26	土	半日	
12	土	休み		27	日		
13	日			28	月		
14	月			29	火		
15	火			30	水		
				31	木		

所長より

「炭鉱のカナリア」という言葉があります。これは、有毒ガスが発生した場合、人間よりも先にカナリアが察知して鳴き声（さえずり）が止むことから、炭鉱労働者がカナリアを籠にいれて坑道に入ったことに由来するもので、何らかの危険が迫っていることを知らせてくれる前兆をいいます。

7月、新聞・TV報道でもあったように、上尾市の障害者施設で熱中症の事故がありました。送迎車両に乗せたまま数時間その利用者の存在に気が付かなかったという、まさかそんなことが・・・という事故ですが、有り得ないことではないです。川口太陽の家では、現在毎日10便の送迎を行なっている状況の中で、このニュースを聞いてどの職員もハッとしましたはずです。

人間が誤り（ヒューマンエラー）を犯すことは不可解な特性です。事故というものは、いくもの不幸な条件や状況が揃ったときに初めて発生します。一説では、一件の重大なトラブル・災害の裏には、29件の軽微なミス、そして300件のヒヤリハットがあるとされると言われています。

炭鉱のカナリアは施設には置くことはできませんが、職員一人一人が何気ないことに気かけ、普段とは違うことを察するだけで、危険な前兆を感じとることで重大な事故を防ぐ手段になるはずです。

人生には3つの坂があります。上り坂。下り坂。そして、まさか・・・まさか、という事態が起きないように、上り坂では浮かれず、下り坂ではさらに気を引き締めておく必要があると感じています。

（黒田）

～後援会からのお知らせ～

7月27日(木)第5回暮らしの駅頭募金が行われました。前回は雨のため中止となりましたが、猛暑も心配される中、当日の天気は比較的穏やかで、気持ちよく募金活動を行うことができました。当日の参加者は仲間16名、家族12名、職員11名の計39名。18120円の募金がありました。ご協力していただいた方ありがとうございました。

次回の第6回は、9月27日(水)を予定しております。よろしくお祈りします。

【コンサート】<日程> 2018年1月20日(土)

<場所> 大宮ソニックシティ

【日程】

・三役会	8/29	・役員会	9/15
・広報部	7/31	・事業部	9/5
・コンサート	8/2	・学習運動	9/27

インフォメーション

○キットパスの皆画(かいが)展

会期: 7/4(火) - 8/12(土) 8:00-20:00

会場: パン・オ・スリール東京都渋谷区渋谷1-4-6

阿部美幸, 大串憲嗣, 足立直久

8/4(金) 16:30 金子隆夫ぼやき

○おかし屋マーブル 金子隆夫さんぼやきリーフレット
付きゼリー5種×各2個 3,000円(税別)。8月31日まで。

○amp かわいいサミット 9th

会期: 8月24日(木) - 8月28日(月) 10:00~18:00

※最終日は16時まで

会場: 八木橋百貨店 8階カトレアホール

・様々な法人のグッズが集まるイベント。工房集グッズを販売。

色鉛筆(^・^)

今、My ブームはハンモックです。たまたま泊まった宿にあり初体験、出来ました(^・^)v あまりにも気持ちが良いので自宅用に購入。家族も使用中。皆で「ヤバイ、マッタリし過ぎて遅刻しちゃう〜♪」と好評です。

北欧の重度障害施設でハンモックやボールプール、ウォーターベッドが充実していると職員研修で報告がありましたよね。みぬまの施設でも仲間が利用出来ると良いのにな〜と思っています。(じゅうに: 栗田)

ある日の志村家の出来事。その日は姉のミニバスの親睦会で、午後からドッジボール大会が行われるということで、私と次女、長男も参加する予定になっていました。前日から少し咳と鼻水が出ていた長男。昼食を食べ始めようとした時、「熱測ってみるね。」とおもむろに体温計を取り出し測りだしました。「そうだね、測っておいてー。」と言いながら用意をしていると、「ママ、37.5度だっ。」との声。「え?」と体温計を見ると確かに37.5度。「あらー、じゃあ今日行けないね。」と言うと、「やだやだ、絶対行きたい!!」と声をあげて大泣き。いやいやじゃあ測らなければ良かったのに…。こっちも行く気満々で用意してたのに。ご飯を食べて1時間寝て、「もし下がっていたら行こう」となだめましたが、結局、1時間後には38度になってしまい、ドッジボール大会は諦めました。なんで自分から熱を測っちゃったのかな?でも…それ位しんどかったんだろうな、と思いながらも、結果としては行かなくて良かったなと思いました。子どもの直感の不思議さを感じた出来事でした。(あおぞら: 志村)

少し前ですが、電車で都内に出かけた時に年配の女性に、席を譲った事がありました。その方はお友達と2人で出掛けた帰りだったようで、何度も「すみませんね、ありがとう。」と言うので、どちらにお出かけたのですか?と話しかけると、「好きな民謡歌手の追っかけをされていて今日も歌を聴きに行っていたのよ。ほら、これ見て!」と、ジャニーズのライブグッズのようなペンライトと、顔写真入りストラップを嬉しそうに見せてくれました。

ストラップはお友達と色違いのお揃い。「80歳にもなると、遊びで出かけるのもくたびれるけど、こうやって電車に乗って若い人の服装みたりするのが楽しいのよ」と話してくれました。ほんの10分くらいのお喋りでしたが、心温まりました。時々、その民謡歌手をテレビで見かけると何だか嬉しい気持ちになります。(じゅうに: 関)

二ヵ月程前にライブに行った帰りに家族に迎えに来てもらった時の話です。気分は高揚した状態で最寄りの駅のロータリーに車が待っていたので、近寄ると車の後部座席側の後ろ側が潰れていました。驚いて事故?頼んでいたらこんなことになってしまったと思ひ恐る恐る後部座席ドアを開けると若い見知らぬ男性が「びっくりしたあ!」と私は「すみません」とドアを閉めました。どうなってんの?車種・色・ナンバーも同じ…いやナンバーの文字が違っていたのでした。同じ時間帯にこんな偶然ってあるの〜?…と思いました。ライブでドキドキしていたのに帰りの出来事で一転緊張に忘れられない一日になりました。(厨房: 中村)